

平成28年度当初予算編成方針のポイント

国・地方財政の動向

- ◇ 総務省の地方財政収支の仮試算 (H27. 8月)
 - ・ H28地方一般財源→H27と実質的に同水準を確保
 - ・ ただし、地方交付税「別枠加算」「歳出特別枠」の見直しについて言及されており、今後の地方財政対策の動向は不透明
- ◇ 地方創生や国土強靱化の推進、社会保障経費の増高など、地方の財政負担の増大は必至

徳島県の状況

- ◇ 実質公債費比率の状況
 - H27比率 18.9% (「7年連続」起債許可団体)
- ◇ 財政構造改革基本方針(H26-H28)に基づき、財政健全化を着実に進めているが、持続力ある財政基盤を確立するためには、なお一層の努力が必要
- ◇ 対応すべき地域課題が山積する中「地方創生」を強力に推進し、県勢の更なる飛躍を図ることが求められている

編成方針

「新未来『創造』とくしま行動計画」、「vs東京『とくしま回帰』総合戦略」の実現に向けた施策を大胆に展開し、“夢”と“希望”あふれる“新未来”を創造！

I 時代を先取りする大胆な施策展開

- 部局間連携による効果的・戦略的な事業構築
- 県民目線・現場主義を徹底し、「産学官金労言」など多様な主体と連携
- 他に先んじた先駆性のある事業構築による「**新未来創造事業枠**」の創設

III 積極的な歳入確保対策の推進

- 国庫支出金や外部資金の大胆な活用による、県費負担の徹底した削減とより大きな事業量の確保
- 新型交付金を積極的に獲得し、最大限活用
- ネーミングライツ等広告料収入の拡大 など

II 県の役割と予算のあり方の再検討

- 山積する地域課題への戦略的・機動的な対応
- 県と市町村等との役割分担の最適化
- 財政構造改革基本方針の着実な推進

IV あらゆる歳出の大胆な「質の転換」

- 「歳出の中から歳入を生み出す取組み」を徹底
 - ・ 既存ストックの有効活用
 - ・ 将来コストの軽減 をはじめとする
- 「とくしま**“実になる”事業**」の積極展開

**「創造的実行力」に磨きをかけ、「発信力」を強化し、各種施策を大胆に展開！
「地方創生」を深化させ、「一歩先の未来」を具現化！**

行動計画、総合戦略の
早期実現

先駆的事业を積極展開
「地方創生」を先導

持続力ある
財政基盤の確立

要求基準のイメージ

新型交付金を最大限活用するとともに、既存事業を見直し、「地方創生」に向けた取組みを加速化！

27年度6月現計予算
政策的経費等
(一般財源ベース)

政策的経費	新未来創造事業枠 前年度予算90%以内 前年度予算並み 前年度予算以内 前年度予算95%以内
維持補修費	
施設管理費	
一般管理費	

新未来創造事業枠には、5億円の財源枠を設定

28年度当初予算
政策的経費等
要求可能額
(一般財源ベース)

「公共事業」については、国の動向等を踏まえ、別途定める。